

# 秋田県能代事案について

令和5年3月末現在

## 事案の概要

### 事案の経緯

- ・昭和55年から廃棄物処理業者が最終処分業開始。昭和62年頃から敷地外でVOC(ベンゼン等)を含む汚水滲出等の問題顕在化。
- ・平成10年事業者が倒産し、県が行政代執行等に着手。

### 支障等

- ・これまでの対策により、周辺地下水で水質が大幅に改善しているが、処分場内ではベンゼンなど一部のVOCが依然として環境基準値を超えて検出。
- ・平成21年11月、環境基準に追加された1,4-ジオキサンが処分場内外で高濃度で検出され、新たな対策が必要。



### <処分場概要>

埋立処分量: 約101万t  
許可容量: 約85万m<sup>3</sup>

## 対策工の概要

事業主体: 秋田県

### ①汚水処理等の維持管理対策

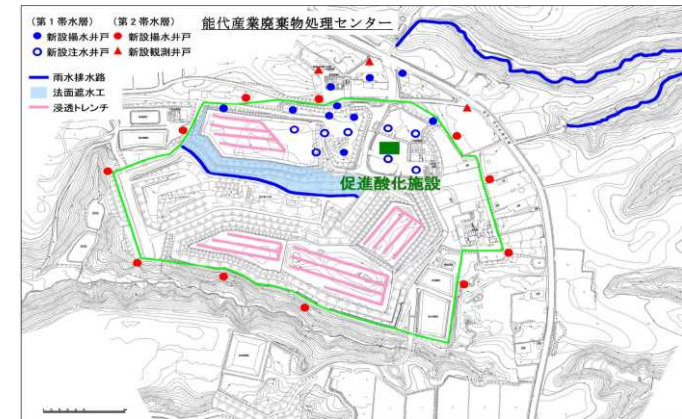
- ・汚染地下水の回収・処理
- ・汚水処理施設の改良・整備 等

### ②汚染拡散防止対策

- ・遮水壁及び揚水井戸の設置 等

### ③場内雨水対策

- ・処分場上面部及び法面部へのキャッピング
- ・雨水排水路の整備 等



## 行政対応・責任追及

### 行政対応

行政対応検証では、①現時点から見れば、県の監視指導は必ずしも十分ではなかったこと、②告発や改善命令等の発出により業者の遵法意識を高め、適切な行動を求めるべきだったこと、③提訴を受け、地元住民との意思疎通や情報提供を積極的に行おうとする意識や姿勢が希薄であったこと等の指摘があり、監視指導体制の強化、事業者に対する指導の徹底と研修の強化、地元住民等との対話の重視などを図ってきた。

### 責任追及

原因者に対しては措置命令を発している。引き続き原因者に対して費用求償していくこととしている。また、経営者の告発を行い、同人に対する罰金刑が確定している。

## スケジュール・費用

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
①	→										
②	→								→		
③	→										

令和4年度  
事業完了

総事業費 平成16年度～令和4年度 約4.2億円